

3 目標値一覧

1 健康状態の把握と病気の発症・重症化の予防

(1) がん

重点目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
悪性新生物標準化死亡比（ベイズ推定値）の低下	男性 95.1 女性 100.5 (平成19～23年)	男性 92.0 女性 98.0 (平成35年度)	男性 98.8 女性 100.1 (平成19年～23年)
	【データソース】 愛知県衛生研究所 市町村別標準化死亡比		
【目標値の考え方】県内で、人口や高齢化率が本市と近く、ベイズ推定値が本市よりも低い市の値を目標とする。			

健康・行動目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
胃がん検診受診率の向上（40～69歳）	18.6% (平成24年度)	40.0%以上 (平成35年度)	14.7% (平成22年度)
	【データソース】 実績（健康課調べ）		
【目標値の考え方】 「愛知県がん対策推進計画」に合わせた目標とする。			
肺がん検診受診率の向上（40～69歳）	16.8% (平成24年度)	40.0%以上 (平成35年度)	23.8% (平成22年度)
	【データソース】 実績（健康課調べ）		
【目標値の考え方】 「愛知県がん対策推進計画」に合わせた目標とする。			
大腸がん検診受診率の向上（40～69歳）	25.2% (平成24年度)	40.0%以上 (平成35年度)	20.0% (平成22年度)
	【データソース】 実績（健康課調べ）		
【目標値の考え方】 「愛知県がん対策推進計画」に合わせた目標とする。			
子宮がん検診受診率の向上（20～69歳）	28.1% (平成24年度)	50.0%以上 (平成35年度)	38.2% (平成22年度)
	【データソース】 実績（健康課調べ）		
【目標値の考え方】 「愛知県がん対策推進計画」に合わせた目標とする。			
乳がん検診受診率の向上（40～69歳）	31.1% (平成24年度)	50.0%以上 (平成35年度)	31.1% (平成22年度)
	【データソース】 実績（健康課調べ）		
【目標値の考え方】 「愛知県がん対策推進計画」に合わせた目標とする。			

環境目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
健康づくりに協力してくれる店等の増加	—	100 店 (平成 35 年度)	—
	【データソース】 実績 (健康課調べ)		
【目標値の考え方】 毎年 10 店ずつ増加させることを目標とする。			
企業等に対して健康診査、検診の受診勧奨を行う件数の増加	—	100 件 (平成 35 年度)	—
	【データソース】 実績 (健康課調べ)		
【目標値の考え方】 毎年 10 企業ずつ増加させることを目標とする。			

(2) 循環器疾患

重点目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
脳血管疾患標準化死亡率 (ベイズ推定値) の低下	男性 95.0 女性 103.6 (平成 19～23 年)	男性 89.0 女性 98.0 (平成 35 年度)	男性 97.0 女性 101.8 (平成 19 年～23 年)
	【データソース】 愛知県衛生研究所 市町村別標準化死亡率		
【目標値の考え方】 県内で、人口や高齢化率が本市と近く、ベイズ推定値が本市よりも低い市の値を目標とする。			
心疾患標準化死亡率 (ベイズ推定値) の低下	男性 85.3 女性 96.5 (平成 19～23 年)	男性 82.0 女性 93.0 (平成 35 年度)	男性 92.6 女性 102.3 (平成 19 年～23 年)
	【データソース】 愛知県衛生研究所 市町村別標準化死亡率		
【目標値の考え方】 県内で、人口や高齢化率が本市と近く、ベイズ推定値が本市よりも低い市の値を目標とする。			

健康・行動目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
I 度高血圧以上 (最高血圧 140 以上または最低血圧 90 以上) の割合の減少 (40～74 歳)	男性 27.7% 女性 24.0% (平成 22 年度)	男性 21.0%以下 女性 18.0%以下 (平成 35 年度)	男性 26.1% 女性 13.5% (平成 22 年度)
	【データソース】 「刈谷市 特定健診・保健指導情報データを活用した分析」 愛知県		
【目標値の考え方】 メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の減少率が 25% 減のため、同様に 25% 減を目標とする。			
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の減少 (40～74 歳)	男性 39.1% 女性 14.8% (平成 22 年度)	男性 30.0%以下 女性 11.0%以下 (平成 35 年度)	男性 36.8% 女性 13.1% (平成 22 年度)
	【データソース】 「刈谷市 特定健診・保健指導情報データを活用した分析」 愛知県		
【目標値の考え方】 「医療費適正化に関する政策についての基本的な方針」に鑑み、平成 29 年度末時点までに平成 22 年度より 25% 以上減少させ、その後平成 34 年度まで維持することを目標とする。			

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
特定健康診査の実施率の向上 (刈谷市国民健康保険)	41.0% (平成23年度)	60.0% (平成35年度)	35.8% (平成23年度)
	【データソース】法定報告(国保加入者)		
【目標値の考え方】 「第2期刈谷市国民健康保険特定健康診査等実施計画」に合わせた目標とする。			
特定保健指導の実施率の向上 (刈谷市国民健康保険)	8.6% (平成23年度)	60.0% (平成35年度)	14.2% (平成23年度)
	【データソース】法定報告(国保加入者)		
【目標値の考え方】 「第2期刈谷市国民健康保険特定健康診査等実施計画」に合わせた目標とする。			

環境目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
健康づくりに協力してくれる店等の増加 〔再掲〕	—	100店 (平成35年度)	—
	【データソース】実績(健康課調べ)		
【目標値の考え方】 毎年10店ずつ増加させることを目標とする。			
企業等に対して健康診査、検診の受診勧奨を行う件数の増加 〔再掲〕	—	100件 (平成35年度)	—
	【データソース】実績(健康課調べ)		
【目標値の考え方】 毎年10企業ずつ増加させることを目標とする。			

(3) 糖尿病

重点目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
糖尿病腎症による新規透析導入者の減少 (3年間の平均値)	11人 (平成21～23年)	10人以下 (平成35年度)	—
	【データソース】愛知腎臓財団(新規透析者数、糖尿病による新規透析患者数)		
【目標値の考え方】 愛知県が10年間で10%減を目標としているため、同様に10%減を目標とする。			

健康・行動目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
糖尿病有病者割合(HbA1c6.5%以上) の減少(40～74歳)	男性 11.7% 女性 7.8% 全体 9.9% (平成22年度)	男性 9.0%以下 女性 6.0%以下 全体 7.0%以下 (平成35年度)	男性 10.1% 女性 6.1% 全体 8.1% (平成22年度)
【データソース】「刈谷市 特定健診・保健指導情報データを活用した分析」 愛知県			
【目標値の考え方】 「医療費適正化に関する政策についての基本的な方針」に鑑み、平成22年度より25%以上減少させることを目標とする。			

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
HbA1c 6.5%以上の者のうち、治療中の者の割合の増加 (40～74 歳)	男性 46.7% 女性 44.7% 全体 46.0% (平成 22 年度)	男性 75.0%以上 女性 75.0%以上 全体 75.0%以上 (平成 35 年度)	男性 49.1% 女性 47.5% 全体 48.5% (平成 22 年度)
	【データソース】「刈谷市 特定健診・保健指導情報データを活用した分析」 愛知県		
【目標値の考え方】 糖尿病合併症抑制のためには、HbA1c が高値であれば、治療し血糖コントロールしていく必要があるため、愛知県と同様の目標とする。			
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の減少 (40～74 歳)〔再掲〕	男性 39.1% 女性 14.8% (平成 22 年度)	男性 30.0%以下 女性 11.0%以下 (平成 35 年度)	男性 36.8% 女性 13.1% (平成 22 年度)
	【データソース】「刈谷市 特定健診・保健指導情報データを活用した分析」 愛知県		
【目標値の考え方】 「医療費適正化に関する政策についての基本的な方針」に鑑み、平成 29 年度末時点までに平成 22 年度より 25% 以上減少させ、その後平成 34 年度まで維持することを目標とする。			
特定健康診査の実施率の向上〔再掲〕	41.0% (平成 23 年度)	60.0% (平成 35 年度)	35.8% (平成 23 年度)
	【データソース】法定報告 (国保加入者)		
【目標値の考え方】 「第 2 期刈谷市国民健康保険特定健康診査等実施計画」に合わせた目標とする。			
特定保健指導の実施率の向上〔再掲〕	8.6% (平成 23 年度)	60.0% (平成 35 年度)	14.2% (平成 23 年度)
	【データソース】法定報告 (国保加入者)		
【目標値の考え方】 「第 2 期刈谷市国民健康保険特定健康診査等実施計画」に合わせた目標とする。			

環境目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
健康づくりに協力してくれる店等の増加〔再掲〕	—	100 店 (平成 35 年度)	—
	【データソース】実績 (健康課調べ)		
【目標値の考え方】 毎年 10 店ずつ増加させることを目標とする。			
企業等に対して健康診査、検診の受診勧奨を行う件数の増加〔再掲〕	—	100 件 (平成 35 年度)	—
	【データソース】実績 (健康課調べ)		
【目標値の考え方】 毎年 10 企業ずつ増加させることを目標とする。			

2 意識・行動変容による生活習慣の改善

(1) 栄養・食生活

重点目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
肥満者（BMI 25 以上）の割合の減少 （40～69 歳）	男性 29.1% 女性 18.5% (平成 22 年度)	男性 25.0%以下 女性 15.0%以下 (平成 35 年度)	男性 27.2% 女性 16.3% (平成 22 年度)
【目標値の考え方】 本市では、男女ともに愛知県平均値より高いため、平成 22 年度の愛知県平均値を基準とし、さらに期待値も 込めた目標とする。			
肥満傾向児（肥満度 20.0%以上） の割合の減少（小学 5 年生）	男子 8.3% 女子 4.5% (平成 24 年度)	男子 8.3%以下 女子 4.5%以下 (平成 35 年度)	男子 5.1% 女子 6.4% (平成 24 年度)
【目標値の考え方】 肥満傾向児の割合は年度により変動があり、今後の予測値を示すことは困難であるが、生活習慣改善により 現状値を上回らないことを目標とする。			
痩身傾向児（肥満度 -20.0%以下） の割合の減少（中学 3 年生女子）	3.6% (平成 24 年度)	3.6%以下 (平成 35 年度)	7.1% (平成 24 年度)
【目標値の考え方】 痩身傾向児の割合は年度により変動があり、今後の予測値を示すことは困難であるが、生活習慣改善により 現状値を上回らないことを目標とする。			
低栄養傾向高齢者（BMI 20 未満）の増加 の抑制（65 歳以上）	16.7% (平成 24 年度)	16.7%以下 (平成 35 年度)	19.9% (平成 24 年度)
【目標値の考え方】 今後高齢者の占める割合が増えることから、低栄養傾向の高齢者の割合も増加が見込まれるため、現状値を 上回らないことを目標とする。			

健康・行動目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
ほとんど毎日、1日に2食以上主食・主 菜・副菜をそろえて食べる者の割合の増加 （20～74 歳）	55.8% (平成 24 年度)	70.0%以上 (平成 35 年度)	62.1% ※全年齢 (平成 24 年度)
【目標値の考え方】 「刈谷市食育推進計画」の数値目標において「自分に適した1日の食事の量とバランスがわかる人の割合」 を目標値70%としているため、その目標値を基準に70.0%以上を目標とする。			
朝食を摂取する者の割合の増加 （3 歳児）	93.3% (平成 24 年度)	100% (平成 35 年度)	94.3% (平成 23 年度)
【目標値の考え方】 朝食は1日の生活リズムをつくり、必要な栄養素の摂取と身体活動を活性化させる働きがある。また、成年 期の望ましい食習慣は、乳幼児期に確立されるため、100%を目標とする。			

*平成 35 年度の現状値を出す時には、特定健康診査（刈谷市国民健康保険）及び簡易人間ドックのアンケートに設問を追加して把握す
るため、平成 24 年度の現状値とデータソースが異なります。

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
朝食を摂取する者の割合の増加 (小学5年生)	94.4% (平成24年度)	100% (平成35年度)	—
	【データソース】 学校給食センターの食生活に関するアンケート		
【目標値の考え方】 朝食の摂取は成長発達に必要なため、100%を目標とする。			
朝食を摂取する者の割合の増加 (中学2年生)	88.2% (平成24年度)	100% (平成35年度)	—
	【データソース】 学校給食センターの食生活に関するアンケート		
【目標値の考え方】 朝食の摂取は成長発達に必要なため、100%を目標とする。			

環境目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
健康づくりに協力してくれる店等の増加 〔再掲〕	—	100店 (平成35年度)	—
	【データソース】 実績 (健康課調べ)		
【目標値の考え方】 毎年10店ずつ増加させることを目標とする。			
食生活改善推進員の養成数の増加	226人 (平成10～24年度)	380人 (平成10～35年度)	—
	【データソース】 実績 (健康課調べ)		
【目標値の考え方】 14年間の養成数は226人であり、今後もこの養成数を維持することとし、380人を目標とする。 (平均16人/年×10年=160人 160+226=386人)			
保健推進員の養成数の増加	383人 (平成12～24年度)	600人 (平成12～35年度)	—
	【データソース】 実績 (健康課調べ)		
【目標値の考え方】 市内22地区から1人以上の養成を維持することとし、600人を目標とする。 (22地区×1人×10年=220人 220+383=603人)			

(2) 身体活動・運動

重点目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
運動習慣者の割合の増加 (40～74歳)	男性 49.7% 女性 42.2% (平成24年度)	男性 60.0% 女性 50.0% (平成35年度)	男性 42.3% 女性 38.3% (平成24年度)
	【データソース】 質問票項目別集計表 (特定健診等データ管理システム)		
【目標値の考え方】 運動の普及啓発が図られると想定し、男性60.0%、女性50.0%を目標とする。			
+10を認知している者の割合の増加 (20～74歳)	—	50.0%以上 (平成35年度)	—
	【データソース】 * アンケート		
【目標値の考え方】 運動習慣者の割合の増加の目標値が50.0%であることから、+10の認知についても50.0%以上を目標とする。			

* 特定健康診査 (刈谷市国民健康保険) と簡易人間ドック、乳幼児健康診査時のアンケートで把握します。

健康・行動目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
ロコモティブシンドロームを認知している者の割合の増加 (20～74 歳)	14.7% (平成 24 年度)	80.0% (平成 35 年度)	18.6% ※20 歳以上 (平成 24 年度)
	【データソース】 * 市民健康意識調査		
【目標値の考え方】 ロコモティブシンドロームに関し「言葉も意味も知っていた」または「言葉は聞いたことはあるが意味は知らない」と回答したものを指標とし、愛知県の考え方(メタボリックシンドロームの事例を参考に)と同様に 80.0%を目標とする。			
げんき度測定新規受検者数の増加	1,424 人 (平成 23～24 年度)	3,200 人 (平成 23～35 年度)	—
	【データソース】 げんき度測定新規受検者数		
【目標値の考え方】 現在の実施回数を維持することとし、3,200 人を目標とする。 (平均 180 人/年×10 年=1,800 人 1,800+1,424=3,224 人)			
総合型地域スポーツクラブ加入者数の増加	2,107 人 (平成 24 年度)	6,000 人 (平成 35 年度)	—
	【データソース】 実績(スポーツ課調べ)		
【目標値の考え方】 スポーツマスタープランでは平成 30 年度に 6,000 人、第 7 次総合計画では、平成 32 年度にも 6,000 人となっていることから、6,000 人を目標とする。			

* 平成 35 年度の現状値を出す時には、特定健康診査(刈谷市国民健康保険)及び刈谷市健康診査(75 歳以上)と簡易人間ドックのアンケートに設問を追加して把握するため、平成 24 年度の現状値とデータソースが異なります。

環境目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
ウォーキングコースの増加	10 か所 (平成 24 年度)	15 か所 (平成 35 年度)	—
	【データソース】 実績(スポーツ課調べ)		
【目標値の考え方】 2 年で 1 か所の増設を目標とする。			
げんきプラザと連携し、健康づくりに取り組む運動施設の増加	0 か所 (平成 24 年度)	5 か所 (平成 35 年度)	—
	【データソース】 実績(健康課調べ)		
【目標値の考え方】 現在既存する市内公共運動施設 5 か所を目標とする。			

(3) 休養・こころの健康

健康・行動目標


目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
睡眠による休養を十分とれている者の割合の増加(40～74歳)	75.8% (平成24年度)	80.0%以上 (平成35年度)	72.2% (平成24年度)
	【データソース】 質問票項目別集計表(特定健診等データ管理システム)		
【目標値の考え方】 愛知県では、平成24年度「生活習慣関連調査」において「睡眠による休養を十分とれていない者」を指標とし、現状値20.9%、目標値を17.0%以下と設定している。本市では、「睡眠による休養を十分とれている者」を指標としているため、愛知県の指標を「睡眠による休養を十分とれている者」とし、現状値79.1%、目標値83.0%以上と読みかえる。県の目標値は現状値より1.05倍増加しているため、同様に1.05倍として、80.0%以上を目標とする。			
午後10時以降に就寝する子どもの割合の減少(3歳児) 	26.6% (平成24年度)	13.0%以下 (平成35年度)	29.0% (平成23年度)
	【データソース】 3歳児健康診査アンケート		
【目標値の考え方】 愛知県の目標値設定は、半減を目標としているため、同様に13.0%以下を目標とする。			
エンバラ産後うつ病質問票により産後うつ病が疑われる産婦の割合の減少 	10.6% (平成24年度)	10.0%以下 (平成35年度)	—
	【データソース】 4か月児健康診査時のエンバラ産後うつ病質問票		
【目標値の考え方】 エンバラ産後うつ病質問票において9点以上、または、10項目目の質問が1点以上の者の割合を指標とし、平成24年度が10.6%であるため、10.0%以下を目標とする。			


環境目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
健康づくりに協力してくれる店等の増加 〔再掲〕	—	100店 (平成35年度)	—
	【データソース】 実績(健康課調べ)		
【目標値の考え方】 毎年10店ずつ増加させることを目標とする。			

(4) 喫煙・COPD

重点目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
喫煙率の減少(40～74歳)	男性 37.3% 女性 7.3% (平成22年度)	男性 23.0%以下 女性 5.0%以下 (平成35年度)	男性 35.7% 女性 7.8% (平成22年度)
	【データソース】 「刈谷市 特定健診・保健指導情報データを活用した分析」 愛知県		
【目標値の考え方】 愛知県と同様に国の想定する禁煙希望者割合37.6%を減じた値を目標とする。			
妊娠中の喫煙率の減少 	2.1% (平成24年度)	0% (平成35年度)	3.3% (平成23年度)
	【データソース】 4か月児健康診査時すこやか親子アンケート		
【目標値の考え方】 妊婦の喫煙による妊婦並びに胎児、出生児への影響を考慮し、喫煙をなくす必要があるため、0%を目標とする。			

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
子育て中の家庭における 同居家族の喫煙者の割合の減少 	4か月児 36.6% 1歳6か月児 38.4% 3歳児 40.1% (平成24年度)	20.0%以下 (平成35年度)	3、4か月児 37.1% 1歳6か月児 38.6% 3歳児 34.8% (平成24年度)
	【データソース】 * 乳幼児健康診査アンケート		
【目標値の考え方】 愛知県の目標値20.0%以下と同様の目標とする。			


*平成35年度の現状値を出す時には、健康や親子アンケートに年齢別の喫煙項目を増やし算出するため、平成24年度の現状値とデータソースが異なります。

環境目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
未成年者の喫煙をなくすため、 市内の中学・高校と健康課が連携 して啓発を実施した校数の増加 	0校 (平成24年度)	11校 (平成35年度)	—
	【データソース】 実績 (健康課調べ)		
【目標値の考え方】 中学校全6校と高校全5校で実施することを目標とする。			
COPDの知識の普及啓発をする事業数の 増加	1事業 (平成24年度)	34事業 (平成35年度)	—
	【データソース】 実績 (健康課調べ)		
【目標値の考え方】 平成25年度の事業数を参考としてすべての事業で取り組むことを目標とする。			
市内公共施設の受動喫煙防止対策実施施設 数の増加	75 (平成24年度)	85 (平成35年度)	—
	【データソース】 受動喫煙防止対策実施認定施設データベース		
【目標値の考え方】 多数の者が利用する公共施設は、原則として全面禁煙とすることが望ましいとされていることから、受動喫煙防止対策実施施設の増加を目指し、85施設を目標とする。			

(5) 飲酒

重点目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒して いる者の割合の減少 (40～74歳)	男性 12.4% 女性 6.2% (平成24年度)	男性 11.0%以下 女性 5.0%以下 (平成35年度)	男性 14.3%以下 女性 9.7%以下 (平成24年度)
	【データソース】 質問票項目別集計表 (特定健診等データ管理システム)		
【目標値の考え方】 国の目標が現状値より15%減としているため、同様に男性11.0%以下、女性5.0%以下を目標とする。			
妊娠中に飲酒している者の減少 	2.9% (平成24年度)	0% (平成35年度)	2.3% (平成23年度)
	【データソース】 4か月児健康診査時すこやか親子アンケート		
【目標値の考え方】 妊娠中の飲酒は、妊婦自身の妊娠合併症などのリスクを高める他、胎児にも悪影響を及ぼすため、妊娠中の飲酒をなくすことを目標とする。			

環境目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
未成年者の飲酒をなくすため、市内の中学・高校と健康課が連携して啓発を実施した校数の増加	0校 (平成24年度)	11校 (平成35年度)	—
	【データソース】 実績 (健康課調べ)		
【目標値の考え方】 中学校全6校と高校全5校で実施することを目標とする。			

(6) 歯・口腔の健康

重点目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
80歳で20本以上自分の歯を有する者の割合の増加	13.5% (平成24年度)	20.0% (平成35年度)	—
	【データソース】 80歳で歯科医師の診査により、20本以上自分の歯を有すると認められた者の割合		
【目標値の考え方】 前計画では目標値を20.0%としていたが、目標達成に至らなかったため、前計画と同様に20.0%を目標とする。			

健康・行動目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
むし歯のない者の割合の増加 (3歳児)	89.8% (平成24年度)	95.0% (平成35年度)	86.3% (平成23年度)
	【データソース】 3歳児歯科健康診査結果		
【目標値の考え方】 愛知県と同じく既にむし歯のない者の割合は高率に達しており、今後改善傾向に抑制がかかることが想定される。愛知県と同様に95.0%を目標とする。			
歯周炎を有する者の割合の減少 (40歳)	18.2% (平成24年度)	12.0% (平成35年度)	27.4% (平成23年度)
	【データソース】 歯科健康診査結果		
【目標値の考え方】 年々、有病率が増加しており、前計画策定時の現状に戻すことを目標とする。			
成人歯科健康診査受診率の向上	15.3% (平成24年度)	20.0% (平成35年度)	—
	【データソース】 歯科健康診査受診率		
【目標値の考え方】 過去最も良い受診率は平成22年度の17.8%であり、期待値として20.0%を目標とする。前計画策定時では、対象者を国民健康保険加入者としていたが、第2次計画では、対象者を歯科健康診査対象者全体とした。			

環境目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
給食後の歯みがきを実施している小学校の増加	10校 (平成24年度)	15校 (平成35年度)	—
	【データソース】 実績 (学校教育課調べ)		
【目標値の考え方】 市内小学校全15校を目標とする。			

3 地域で支える健康づくり

重点目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
地域での交流や世代・分野などの垣根を越えた交流が活発であると思う市民の割合の増加	42.6% (平成24年度)	57.3% (平成35年度)	—
	【データソース】 市民生活の現状及び児童・生徒の意識や行動に関するアンケート		
【目標値の考え方】 第7次刈谷市総合計画に合わせた目標とする。			

健康・行動目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
ボランティアや地域活動、自主活動などに参加したことがある市民の割合の増加	42.0% (平成24年度)	57.3% (平成35年度)	—
	【データソース】 市民生活の現状及び児童・生徒の意識や行動に関するアンケート		
【目標値の考え方】 第7次刈谷市総合計画に合わせた目標とする。			

環境目標

目標項目	現状値	目標値	県の現状値 (参考)
公共施設連絡バスの年間利用者数の増加	611,099人 (平成24年度)	650,000人以上 (平成35年度)	—
	【データソース】 公共施設連絡バス利用状況実績		
【目標値の考え方】 年間利用者数の伸び率から10年後を算出し、650,000人以上を目標とする。			